

## 令和6年度第7回教育研究評議会議事録

日 時	令和6年11月6日(水) 開会 午後3時00分 閉会 午後3時30分
場 所	第1会議室(オンライン会議併用)
出席者	榮坂学長、長谷山理事長、村田副学長、川口副学長、平山副学長、 川村副学長、星野副学長、森田教授、新井教授、佐藤満弘教授、八久保教授、 黒河教授、大津教授、澤田教授、三浦教授、奥山事務部長、升井教授、 小西教授
欠席者	米澤理事、内島教授、南教授、榊井教授、高橋教授
陪 席	柏木監事、布施監事

### 議 事

#### 1 教員の選考について

##### (1) 応用化学系准教授(バイオ食品工学分野)選考委員会の設置について

学長から、応用化学系長から教員選考の申し出があり、令和6年10月28日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-1)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

##### (2) 応用化学系准教授(マテリアル工学分野)選考委員会の設置について

学長から、応用化学系長から教員選考の申し出があり、令和6年11月5日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-2)に基づき選考委員会の設置について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

##### (3) 社会環境系助教選考委員会の設置について

学長から、社会環境系長から教員選考の申し出があり、令和6年10月28日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1-3)に基づき選考委員会の設置について説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において、次の質疑応答があった。

- ・高度情報専門人材育成事業とは違う枠組みでの採用ということになるのかという質問があり、助教の採用となるため本件は該当しない旨回答があった。

#### 2 ワイカト大学との覚書締結について

学長から、令和6年9月24日開催の運営戦略会議及び令和6年10月18日開催の地域連携・国際交流委員会の議を経て提案する旨説明の後、研究協力課長から別紙(資料2)に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において、次の質疑応答があった。

- ・覚書締結に当たっての戦略や展望はあるかとの質問があり、これまでオセアニア地域に協定校がなかったため、当該地域の開拓を考えており、ワイカト大学には気候変動や農業、eスポーツなど本学と親和性の高い研究や取り組みがあるため、今後の協定への発展を見据えて覚書を締結することとしたとの回答があった。

### 3 令和7年度学事日程（案）について

学長から、令和6年10月10日開催の教務委員会の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙（資料3）に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において、次の質疑応答及び意見があった。

- ・12月26日が集中講義期間となっており、冬季一斉休業期間に被っているが問題ないかとの質問があり、冬季一斉休業期間に業務の都合上出勤する場合は、当該期間の直前または直後の休日以外の日を休暇日に変更することが可能となっているため問題ない旨回答があった。

### 4 大学院工学研究科（博士前期課程）合否判定基準（案）について

学長から、令和6年10月4日開催のアドミッションセンター運営会議及び令和6年10月28日開催の議を経て提案する旨説明の後、村田副学長から別紙（資料4）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

### 5 博士前期課程データサイエンスプログラムの担当教員について

学長から、令和6年11月5日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、平山副学長から別紙（資料5）に基づき説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において、次の質疑応答があった。

- ・人数は足りているのかとの質問に対し、特段人数の定めはないが、学生募集にあたって不足する人数ではない旨回答があった。
- ・担当教員は追加募集しないのかとの質問があり、まずはこのメンバーでカリキュラム等を検討し、次年度以降は申合せに沿って担当教員を更新していくとの回答があった。

## 報告事項

- 1 オプティマス・リソース共同研究講座の設置について（資料6） （研究協力課長）

次回教育研究評議会 令和6年12月4日（水）午後3時00分開催予定